



2010年2月、横浜から始まった【SPOT】。

2010年	2月18日	横浜BLITZ	公演2回目
	3月6日	神戸オリエンタル劇場	14回目
	3月27日	東京グローブ座	26回目

と、去年は3回見に行きました。

そして今年の3月にバージョンアップし【THE SPOT】として再公演。

2011年	3月9日	天王洲・銀河劇場	再演初日
	5月26日	横浜・神奈川芸術劇場 (KAAT)	再演33日目

初日の銀河劇場には娘と行きました。東京公演がその初日と二日目だけで中止になるとは夢にも思わずに…。

3月11日、賢太郎はアトリエで当日の公演の準備をしていたときに震災に遭い、急ぎ向かった銀河劇場では、照明や舞台セットが乱れていたそうです。一日ずれていたら昼公演の真ただ中の時間。不幸中の幸いでした。賢太郎は海沿いに立つその劇場で一夜を過ごし、対岸の千葉県がコンビナート火災で空を赤く染めている風景を見ていたそうです。

翌日、東京公演の中止を発表し、そして震災5日後の16日には3月19日の山口の舞台から再開するというメッセージを発信しました。

### 僕は舞台に立ちます。

小林賢太郎ライブポツネン 2011『THE SPOT』は、上演が開始されます。

この未曾有の事態に娯楽だなんて、とのご批判もあると思います。

それでも日本の劇場文化を担う者のひとりとしてやるべきことだと考えることにしました。

劇場があって、舞台作品が上演されて、お客様が来て、みんなで楽しんでいる。

このあるべき姿を貫くことが、日本の「普通」をつくることだと思いました。

だから僕はいつもどおり、一切の妥協を許さず全力で舞台をやります。

観たいと思ってくれる人がいるなら、上演したい。

泣いてる人がいるなら、笑わせたい。

今までもそうだったし、これからもそうです。劇場で会いましょう。

仙台公演は延期になってしまったけれど、そのときが来たら東北の人にも笑いを届けに行くことでしょう。



そして舞台は横浜にやってきました。

2カ月ぶりの賢太郎です。

**5月26日 神奈川県芸術劇場(KAAT)**

**19時公演**

## 『LIVE POTSNEN2011 THE SPOT』

1月に出来たばかりの新しい劇場はこの公演で最大の人数が収容できる広さ。賢太郎の公演は指の動き、顔の表情、特に今回は浮かび上がるシルエットが正面から見えないと結末に意味がなくなるので、ステージの横の席は一切観客を入れていませんでした。

内容は、結末に続くものなので本筋は「SPOT」とあまり変わりません。変わっていたのは「小さいお医者さん」が以前のコント「モーフィング」風になっていたことと、エンディングの

王様の相手にポツネン氏を登場させたこと。どちらも流れがより自然になっていました。「お電話お待ちしています」「カードはお持ちですか」といった小ネタが登場し、ふわっとした空間も作りあげていました（おでんが待っている姿は健気だし、カードはおもちじゃありません(^.^)）。

*Live Potsunen 2011 THE SPOT*

初めてポツネンを見た友達のシュクコさんの感想。

「なんでこんなに若い子が、それも女の子が多いのか不思議。もっとオトナに支持されていい人なのにね。」

若い人のアンテナが鋭いということなのかなと思う反面、若い人の「小林さん、ぜ～えんぶ大好きい」的ところが山も谷もなく笑い続け、オトナたちを白けさせ遠ざけるのではないかとも思っています。

以前、ケラリーノ・サンドロヴィッチ（劇団『ナイロン 100℃』主宰。ガチの日本人）がラーメンズの舞台を「他者がいない客席は駄目だ」と言ってラーメンズファンを怒らせた（ケラさんいわく「なんかラーメンズのファンの方々が目くじらたててる」）ことがありました。ケラさんの容貌は大嫌いだけど、この意見には共感します。

わたしも、客席が笑いの準備が出来ている舞台は芸人を殺すと思っています。こういう人たちは【笑っていいとも】の観客となんら変わりありません。



シユクコさん、あとひとこと。「値段が高い」。  
彼女の趣味は観劇で、山口祐一郎の大ファン。だから舞台は高いものと知っていていうからには、この舞台にしては高いということ？と訊こうと思ったら、続けてすぐに賢太郎を「頭のいい人」と話を繋いだので、この苦情は途中搾取しているe+に向けられたものだと思っておくことにしました。

それにしても再公演の賢太郎は体調がよくないようです。やたらと汗を拭いていました。

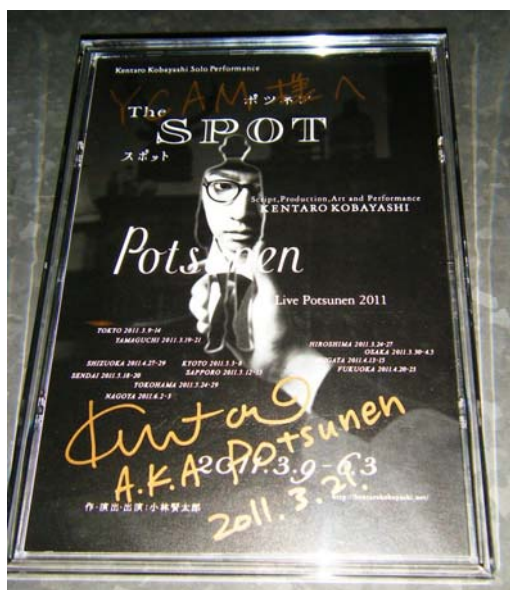
3月の初演のときは、コントの途中でスタッフにお水をもっていました。

そして、2か月経って再び賢太郎に逢ったときにはカーテンコールのときに、胸をおさえてうずくまってしまうました。リアル嘘の好きな賢太郎のことだから、すぐに具合が悪いとは思わなかったけれど、

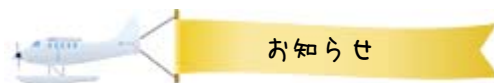
本当に貧血か酸欠だったようでネクタイを緩め、謝りながら立ちあがっていました（弱っている男も素敵だなあと不謹慎な人なら思ったことでしょうか^^;)。

そして今度は、震災直後の振り替え公演の楽日一日を残し、左腕が「どうにも動けない」状態になりまた延期に。魂をこめて上演すると賢太郎が力を入れた振り替え公演。「打ったり飲んだり貼ったり冷やしたり」あらゆる手を尽くしても治らなかったとのこと。

でも、この公演中に38才になったばかりの賢太郎、回復力はまだあります！すぐに振り替え公演の振り替え公演(\*\_\*;)と仙台での公演が決まり、オマケに追加公演までついていました。



そしてそして今年もお茶の間に賢太郎がやって来ます。



8月22日(月) 24:00~小林賢太郎テレビ1(再)

8月23日(火) 23:30~小林賢太郎テレビ2(再)

そして新作。

8月24日(水) 23:30~小林賢太郎テレビ3

BSプレミアム

横浜公演にはカメラが入っていたらしいから、そのときの映像かも♪

←KENTAROのサインのおとの「A. K. A.」は also known as の略。別名ポツネン。AKBみたいって思った人、違うからねー。カイトキナ、カイトキナー

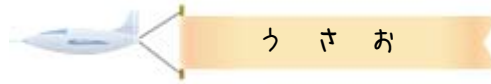




↑賢太郎と一緒に映ってみた(^\_^)

横浜公演にはうさお・Cacco 夫妻、あーんど息子くん+彼女も行ったので感想を聞いてみました。

では代表者のうさおさんどっぞー。



賢太郎の芸風は、間というか、タイミングと言うか、その段取り通りに行えることが重要なので、見ている人に失敗しないだろうなあと言う心配を強要する。気を抜いて見てもらえない。シルクドソレイユを見ていたようなもので、そつなく出来るとホッとして拍手喝采になるってえ寸法だ！だからけっこう疲れるよ。

閑話休題。実は以前から思っていたんだけど、「ぼつねん」の時に耳に掛けるマイクが気になっていたんだ。肌色に色を塗っていた時もあったけど、酸素吸入器に見えてちょっとグロだったよ。って、演劇の感想を述べていないね。冒頭からこれは最終的に何を意味するんだらうって興味があって目が離せない。いくつかのエピソードが後で何かにつながると思って色々推理しました。でも、最後の枠の中に物を並べ始めたときに、あっこれはあれっか！って分かっちゃいました。まるっとね。でも大学時代に見た前衛演劇を思い浮かべたのはなぜでしょうか。(ネタばれになるので「あれっ」ってのは伏せておきます。)



震災のチャリティで「演劇ぶつく」が役者の私物のオークションをやっています。

賢太郎はポツネン氏の帽子、仁さんはコント「ジョッキー」の“馬に坂と書いてまさか、馬坂仁”の衣装。

オークション開始直後にわたしの落札価格予想を軽く越え、仁さんの衣装は15万、帽子はあっという間に31万を超えました。そんなにお金があるなら半分でも東北に直接送ればいいのに、と思うのはボンビビとの切なさか。7月末までオークションは続くけれど、わたしの入札の機会は早々と潰れました…。

仕方ない、ボンビビとは来月の追加公演のチケット取りに精を出しましょか。当たれ〜っ！

